

〔2022年（令和4年）4月1日付 人事異動について〕

1 発令

2022年（令和4年）4月1日付

2 人事異動の基本的な考え方

新年度においては、福山みらい創造ビジョンに掲げる「新たな分散型社会の下で、市民一人一人の安心な暮らしと希望が実現する都市」をめざし、「新型コロナウイルス感染症対策の強化」と「デジタル化の推進」に引き続き注力し、新たな都市の魅力づくりが実現できるよう職員配置の見直しを行う中で、必要な部署にはメリハリをつけて人員配置を行い、体制の充実や強化に努めた。

- 計画的な人事異動を行い、組織の活性化と主体的なキャリア形成につなげる。
- 新型コロナウイルス感染症対策について、感染症対策を担う部門とワクチン接種事業を担う部門の体制を大幅に強化する。
- 職員数の適正化を図りながら、スピード感をもって新たな「5つの挑戦」に全力で取り組むため、デジタル化を推進するとともに、局内外の調整を担う政策調整官を新たに配置し、限りある人員の中でも時代の変化に対応した政策の立案、実施や横断的な連携を行うことができるよう、メリハリのきいた人員配置を行う。
- 女性職員の積極的な登用を行う。

3 異動の規模

異動の規模は、大規模（1,012名）となった。

4 具体的な対応

(1) 参事の配置

市全体の政策・施策を総合的に調整する役割を担う局長職の参事を配置する。
なお、福山市参事は、市長公室長を兼務する。

(2) 政策調整官の配置

局内外の調整や懸案事項への対応など、局の政策・施策を一層推進していくため、企画財政局、総務局、経済環境局、保健福祉局、市民局及び建設局に、課長職の政策調整官を配置する。

(3) デジタル化推進体制の強化

デジタル化実行計画を着実に推進していくため、新たに企画政策部へ産業・地域分野のデジタル化の推進を担当するデジタル化担当部長を配置するとともに、デジタル化推進課の職員を増員し推進体制を強化する。

なお、デジタル化担当部長は、総務部へ配置する行政分野のデジタル化を担当する参与（デジタル化担当）を兼務し、産業・地域・行政の3分野におけるデジタル化実行計画を一体的に推進する。

(4) 公共施設サービスの再構築等に係る推進体制の強化

公民連携による公共施設サービスの再構築について、財産管理と一体的に推進していくため、新たに資産活用課へPFI推進担当課長を配置するとともに、職員を増員し推進体制を強化する。

(5) 防災体制の強化

災害時の行政における対応力を強化するため、新たに危機管理防災課へ災害対策担当次長を配置するとともに、職員を増員し体制を強化する。

(6) 新型コロナウイルス感染症対策に係る体制の強化

新型コロナウイルス感染症対策に関する業務を円滑に実施するため、新たに保健予防課へ感染症担当課長及び新型コロナ対策担当次長を配置する。

また、ワクチン接種事業に係る体制として、新たに新型コロナワクチン接種担当課長及び新型コロナワクチン接種担当次長を配置するとともに、保健予防課の職員を増員し体制を強化する。

(7) 中央省庁、広島県への派遣

人材育成の観点から、中央省庁へ5名の若手職員を派遣する。専門的、実務的なマネジメント能力を養い、資質の向上を図るため、広島県へ4名を派遣する。

〔 中央省庁：内閣府 2名、デジタル庁 1名、経済産業省 1名、環境省 1名
　　県　　庁：広島県へ主事 3名、技師 1名 〕

5 昇格者（大学教員及び派遣職員を除く。）

区分	2022(令和4)年度	2021(令和3)年度
局長・参事	3名	1名
部長・参与	7	5
課長・主幹	29	17
課長補佐・専門員	6	13
次長・調整員	44	29
合計	99	65

【参考】（2022年度（令和4年度）昇格者の職名内訳）

局長・参事	3名	(主事3名)
部長・参与	7名	(主事6名, 技師1名)
課長・主幹	29名	(主事20名, 技師6名, 保健師2名, 指導保育士1名)
課長補佐・専門員	6名	(主事2名, 指導保育士4名)
次長・調整員	44名	(主事34名, 技師6名, 保健師3名, 指導主事1名)

6 女性職員の登用状況

女性管理職については、税務部長や福祉部長、スポーツ・青少年女性担当部長など部長職5名（うち新採用1名含む）を、総務局政策調整官や観光課長など課長職10名を登用する。

（女性職員の任用状況）

区分	局長級	部長級	課長級	合計
2022（令和4）年度	—	10名 (10)	26名 (28)	36名 (38)
2021（令和3）年度	—	6 (6)	23 (25)	29 (31)

※カッコ内は公立大学法人福山市立大学事務局への派遣職員を含む人数